

古墳壁画の保存活用に関する検討会
装飾古墳ワーキンググループ(第4回)平成30年 8月 1日(水)
熊本県庁新館2階職員研修室平成28年熊本地震における永安寺東・西古墳の
被災状況及び復旧の現状について玉名市教育委員会教育部
文化課 田中康雄

1. 両古墳の被災状況について

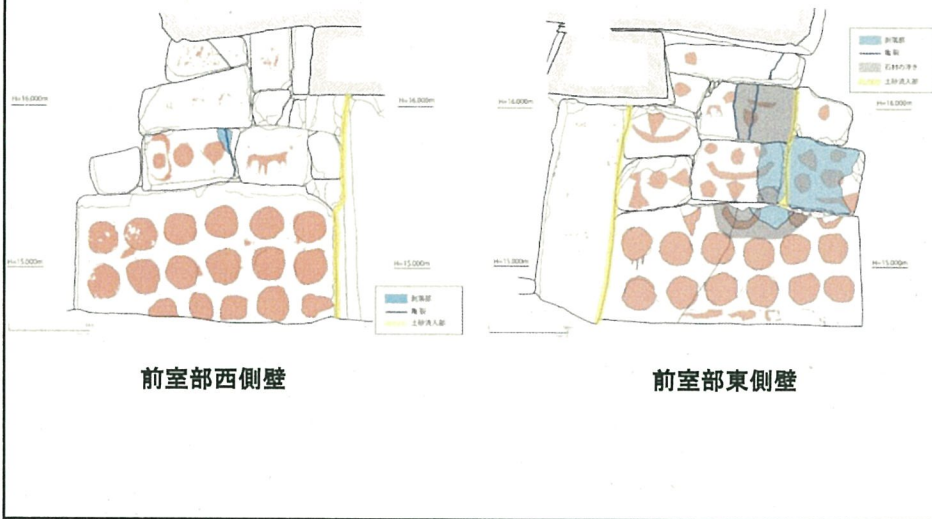
①永安寺東古墳

- 石室石材の剥落、亀裂、浮き
 - ・前室部：6石材11箇所(すべて彩色有石材)
 - ・玄室部：6石材6箇所(装飾なし)
- 石室石材裏から石室内への土砂流入
- 天井石からの漏水による石室床面の穿孔：多数
- 墳丘保護盛土部の亀裂：1箇所(長さ約3.4m 幅約0.15m 深さ約0.37m～1.16m)

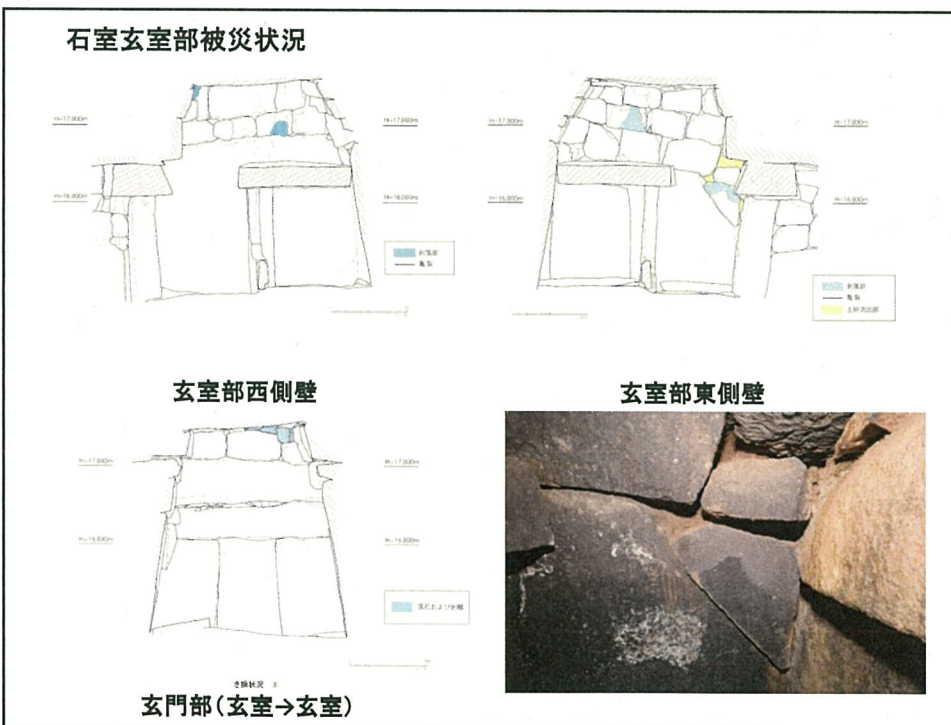
②永安寺西古墳

- 保護施設の破損
 - ・保護施設外壁継目からの漏水：多数
 - ・基礎とパイプラス結合部の破損：1箇所
 - ・基礎下盛土の崩落：1箇所
 - ・雨水取入施設の破損及び漏水：多数
- 墳丘残存部の崩落、流出等
 - ・壁面の崩落：2箇所
 - ・墳丘表土の流出：1箇所
 - ・墳丘表面の水道：多数

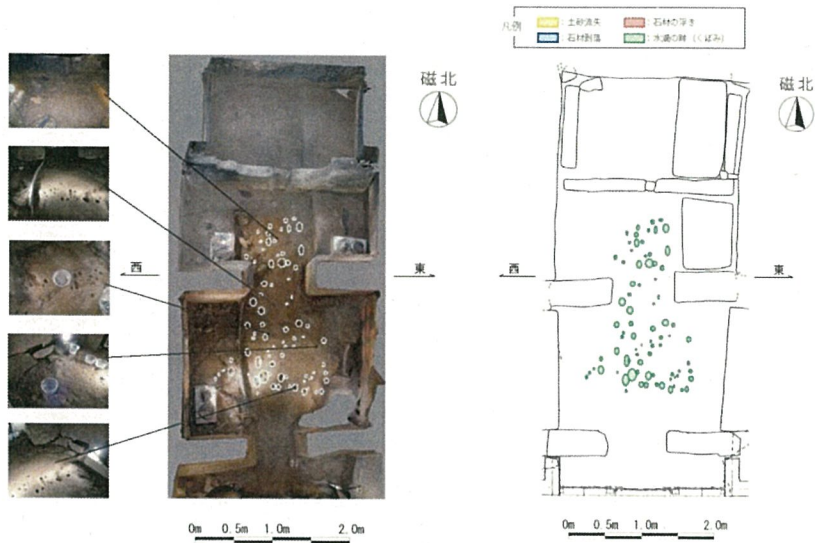
●永安寺東古墳
石室前室部被災狀況



石室玄室部被災狀況



石室床面被災状況



墳丘部被災状況



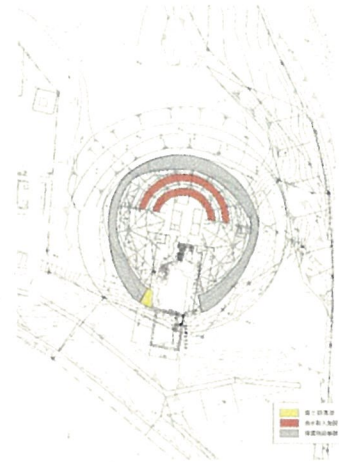
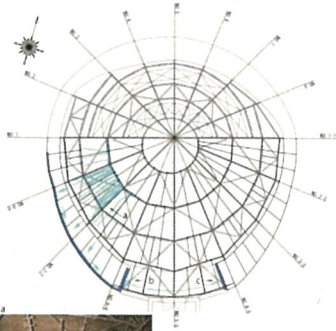
墳丘亀裂部(南→北)



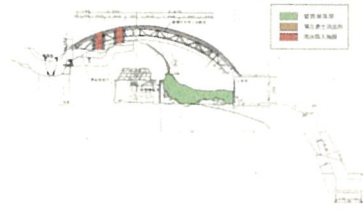
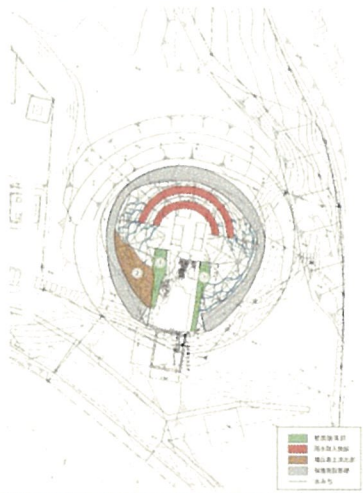
墳丘亀裂部(俯瞰)

●永安寺西古墳
保護施設被災状況

高水状況図



墳丘部被災状況



石室中央→東側



石室中央→西側



2. 復旧の現状について

①第1回復旧工法検討会議(2018.5.9開催)

○有識者

- 甲元眞之氏 (熊本大学名誉教授 考古学)
- 山尾敏孝氏 (熊本大学名誉教授 土木工学)
- 高妻洋成氏 (奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長 保存科学)
- 前川清一氏 (玉名市文化財保護審議会会長 石造文化財)

○検討内容

- ・被災状況調査結果の報告
- ・応急処置の方法について
- ・今後必要な調査について



②応急処置について

○永安寺東古墳

●石室内床面養生(2018.6.25実施)

- ・石室内への流入土砂撤去後に、石室床面にエタノール噴霧により消毒した不織布を数枚重ねて敷設 ※流入土砂は土嚢袋に詰めて見学室内に保管
- ・漏水量観測のため前室2箇所、玄室2箇所にバケツを設置し現在漏水量を計測中



不織布敷設前(前室部)



不織布敷設後(前室部)

●墳丘亀裂部

- ・亀裂部に土及び粘土を充填し雨水流入を防ぐ措置について、現在現状変更の申請中



墳丘亀裂部応急処置模式図

○永安寺西古墳

●保護施設シート養生(2018.6.15～22実施)

- ・保護施設の漏水を防ぐためシートで施設全体を覆う作業を実施
- ・内部の温湿度測定は継続し、内部の環境変化が生じるかモニタリング中



シート養生前 南東→北西



シート養生後 南東→北西

●保護施設内の墳丘崩落・流出土の撤去(未実施)

- ・墳丘崩落・流出土を土嚢袋に詰めて撤去し、古墳南側の指定地内にてシートに包んで保管する。

3. 今後の復旧について

①調査について

○永安寺東古墳

- ・デジタルカメラによる三次元計測を実施 ※現地での作業は終了し、現在データ処理中

○永安寺西古墳

- ・墳丘崩落・流出土の撤去後、施設南側の擁壁、保護施設、古墳本体のデジタルカメラによる三次元計測を実施する。

②復旧工法の検討について

○永安寺東古墳

- ・石室石材の復旧方法の検討
- ・墳丘亀裂部の復旧方法の検討

○永安寺西古墳

- ・保護施設の現状を把握した上で今後の方向性を検討

4. チェックシートの作成について

両古墳の三次元計測終了後、石室実測図や被災前写真と比較し作成する予定